

地域と人とをつなぐ『観光ホスピタリティ』

本場仕込みの

「誰にでも“みりょくある”地域」
すべての人が訪れたくなる観光の考え方

観光客の満足はいったい何が要因なのでしょうか？

これから観光とホスピタリティの開発と発展のビジョンをお話します。

観光地と言っても、その“かたち”は様々です。地域の特性と“みりょく”を最大限に引き出す地域作りが必要とされています。その“みりょく”的一つに観光とホスピタリティとの融合を挙げ、地域に来た誰もが楽しめる。すべての人が訪れて良い経験と思い出を作つてもらう。そんな“みりょく”についてお話しします。

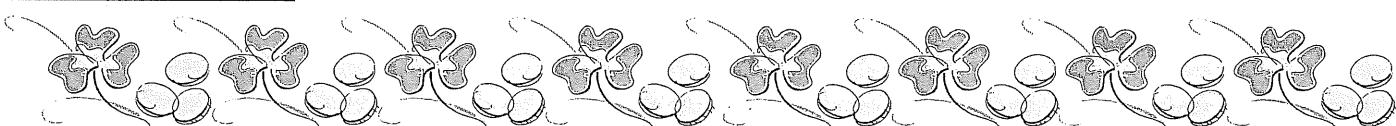
□□プログラム□□

- ・ホテルや旅館、商店の“ひと”
- ・まちづくりと観光
- ・観光地のマネージメントは？
- ・観光経験満足度の方程式
- ・人を満足させない観光を提供すると？

§ 目 時 §

§ 場 所 §

§ 申込方法 §



§ § 講師プロフィール § §



観光ホスピタリティコンサルタント

石田 宜久 (いしだ よしひさ)

NZでの高校卒業後、東京丸の内のパレスホテルにてサービス業と出会う。

後、オーストラリアのホテル・観光の専門学校へ。ヒルトンホテル、スタンフォード・プラザでの経験を経て、世界観光機構に認定されている12大学の一つ、オーストラリアのジェームズクック大学に入学。修士課程修了後、オーストラリアの企画運営会社

にてシティホールでの様々な授賞式やパーティ、州議事堂での国際会議や国際交流パーティ、アフターファンクション業務、地域イベントの運営や個人ウェディングなどを担当。

2008年の『クイーンズランド州クラブ・アチーブメント・アワード』にてスーパバイザーを担当。帰国後観光系専門学校にて講師として勤務。2011年に観光とホスピタリティの総合コンサルタント事業DiTHi（ディシイ）を開設。